

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
105	政治学演習 (川岸令和)	通年	3年以上：4単位	川岸 令和 政政・経演・国演

副題
Subtitle

日本国憲法の現在

授業概要
Course Description

日本国憲法は、敗戦という現実がもたらした新しい時代の新秩序を構成すべく制定された。その新秩序は、基本的人権・国民主権・平和主義の実現という構想を基軸にして展開されることとなった。これらの概念は日本史上根本的に新規なものである。またこの憲法は初めて広く討議に付され制定された。そのときから日本国民は自らの政治運営による正統性の探求という終わりなき旅を始めたのであった。60年余を経た現在、その約束は果たされているであろうか。

本演習は、新しい時代の新しい政治の科学として誕生した日本国憲法に関する判例・学説の現在の到達点を把握すること、そしてそのさらなる発展の可能性を問うことを目的とする。方法としては、法解釈学とそれを支える政治・思想・歴史的アプローチとを行きつ戻りつしながら進めていく。日本国憲法の可能性を問うことは、我々の過去を顧み、未来を構想することである。我々は集団としてどのような人間でありたいと考えているのであろうか。

憲法を勉強しようとする際には、感性が豊かで、人間や社会問題に幅広く関心を抱いていることが重要である。現時点での憲法に関する知識は問わない。温かい心と冷静に議論しようとする姿勢をもつ諸君の参加を希望する。

授業の
到達目標
Objectives

日本国憲法をめぐる判例と学説の現在の到達点を理解し、さらなるリベラル・デモクラシーの深化を構想することを目標とする。具体的には、4年次に大学生生活の集大成となるゼミ論文をまとめることである。

授業計画
Course Schedule

第1回：開講に当たって
第2回：戸松『プレップ 憲法』第3版を読む
第3回：戸松『プレップ 憲法』第3版を読む
第4回：尊属殺重罰規定違憲判決を読む
第5回：尊属殺重罰規定違憲判決を読む
第6回：棟居ほか『基本的人権の事件簿』第4版を読む
第7回：棟居ほか『基本的人権の事件簿』第4版を読む
第8回：棟居ほか『基本的人権の事件簿』第4版を読む
第9回：棟居ほか『基本的人権の事件簿』第4版を読む
第10回：棟居ほか『基本的人権の事件簿』第4版を読む
第11回：古関『日本国憲法の誕生』を読む
第12回：古関『日本国憲法の誕生』を読む
第13回：古関『日本国憲法の誕生』を読む
第14回：古関『日本国憲法の誕生』を読む
第15回：前半の理解度の確認
第16回：夏合宿ディベート大会での問題の検討
第17回 - 第29回：受講生と相談の上決定したテキストを読む
第30回：まとめ 期末レポート講評

教科書
Textbook(s)

戸松秀典『プレップ 憲法』第3版（弘文堂、2007年）、棟居快行ほか『基本的人権の事件簿』第4版（有斐閣、2011年）、古関彰一『日本国憲法の誕生』（岩波現代文庫、2009年）、川岸ほか『憲法』新版（青林書院、2005年）、飯島・川岸編『憲法と政治思想の対話』（新評論、2002年）藪下監修『立憲主義の政治経済学』（東洋経済新報社、2008年）ほか。

参考文献
Reference Book(s)

開講時に参考文献一覧を配布する予定である。

評価方法
Evaluation

	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	
平常点評価 Class Participation	50 %	
その他 Other	%	

備考
Note

憲法を未履習のゼミ生は、三年次に必ず履修すること。

関連URL
URLs for References